

5781 **KURAKU 久楽心模様：琵琶湖畔を楽しむ・木津の港跡** ⑧

.....

今も、小さな旅でも、ひとり旅の定番はない。思いつくままに、旅のスタイルは変化させてその時の環境と状況、身の程は、冷静に判断しているつもりで、楽しんでいる。

常に、**先入観なしの未知への挑戦**。時に、不測の事態は、発生するもの。

下記は、低速車用のコース。道路側に、ブルーのラインが、少し見えるのが、上級者コース。グループで楽しむ人たち、単身で楽しむ人、人それぞれ。**私のコースは、いろいろ**。



凸凹道、要注意

## ～～山はみどり 野に花 人にはころ～～

私は脇道始め、道草も多い。花折峠などの上りは、今は当然、**ママチャリを押しての歩きの道中**。

**時間がかかる**のは当たり前。地道も分け入る。**パンク**も要注意。画像記録も残したい。

いろいろな道と出会う。時に駐輪して徒歩で・・・後遺症は、ご免。

自分では、自覚しているが、他人様から、年配者扱いされるのは、楽しくない。

**休み休み、危険回避**。自業自得の自己責任。いい体力訓練、それ以上に、心の訓練になる。

頭の体操、**活性化**。今は、少しでも長く楽しめたらいいと思うだけで、執着はない。

一十百千万、老若男女、**会話の機会**も、意外に多い。遺跡があれば、先人を偲び、学びもある。

